

India

ASSOCIATION
FOR
THE RURAL POOR



少女は、いったい何を見つめてい
るのだろうか...

© Naohiro Go

南インドの美しい海岸の村々でも、皆様のご支援を必要としています

ARP（農村貧困者のための協会）は
インドの最底辺の人々のための支援
活動を行っています。

昨年3月に行ったあの漁村は大丈夫だ
ろうか？あの元気な子供たちは...？まず
私たちが思ったのはそのことでした。



ARPのリーダーである、フェリック
ス・N・スギルタラジさんにメール出す
と大晦日の日に返信があり、そこには

「この短い手紙であの朝の恐ろしい体験
を語り尽くすことはできません。私は
ちょうど海岸の近くにいたため、津波に
よって引き起こされた惨事を目撃しまし
た。チェンナイ市（旧マドラス）のマリ
ナビーチ近くで、26日夕方だけでも、
私は、1,000の遺体がまだ浮いているの
を数えることができました。千人を超える
漁師は家や家財道具、漁の道具を失
い、その衝撃に嘆き悲しんでいました。
マリナビーチは南アジアでもっとも美
しい海岸線と言われていましたが、そこも

完全に破壊し尽くされました。私は、マ
ハバリプラムに近い漁村の人々から連絡
を受け26日以来、緊急の支援を始めて
います。何度か現地を訪ねましたが、状
況は痛ましいものです。今一番必要な
のは食糧、衣料そして医薬品です。10万
人にも及ぶ被災者が、津波のために家
を失い親を失っています。

どうぞ思いを寄せ、緊急にご支援下さ
い。私たちはすでに古着、米、中古の台
所道具などを集め被災者に配っていま
す。救援NGO調整委員会も様々なとこ
ろで物資を調達しています。」

と書かれていました（抜粋・一部編集、
訳:アジア保健研修所・津波募金ホーム
ページより、<http://blog3.fc2.com/ahi/blog-entry-18.html>）。

フェリックスさんからのメッセージに
心を動かされ、私たちもARPのインド
洋沖津波・災害支援活動へ対する募金活
動を実施しています。どうぞ、皆様
のご協力をお願い申し上げます。



ARP(農村貧困者のための協会)とは？

カースト制度は3000年来、インド人
の精神、生活、社会、政治を規定し続け
てきました。しかし、インドにはその
カースト制度からも除外されて、社会の
最底辺に押しやられた人びとがいます。



彼らは自らの解放と自立のために立ち
上がり、自らを「抑圧された者」を意味
する「ダリット」と名乗っています。そ
んな人々がインド人口の10数%を占め
る2億人近くもいるといわれています。

ARPは、このようなダリットをはじ
めとするインドの最底辺の人々を支援す
る国際的にも著名な活動団体です。

現在の主な活動の一つに、1982年設
立の「身体障害児の家」があり、南イン
ドのチェンナイ市から約60キロ離れた
農村地帯にあるアンバッカム村で、その
ようなダリット村出身の身体の不自由な
子どもたち約50人が暮らしています。

ここで子ども達は、学校教育と共に身
体のリハビリ、将来、村社会に帰って自
立できるように職業訓練も受けることが
できます。また、日本のJICAの支援も
受け、ダリット出身の少女達の自立支援
のための裁縫学校も運営しています。

(アジアボランティアセンター・ホーム
ページ、<http://www.ne.jp/asahi/avc/earth/arp.htm>より、抜粋、一部加筆)

☆私たちは、毎年3月の下旬から4月
の上旬にかけて、インド・マレーシア
スタディーーツアを開催しています。イ
ンドでは、インドのNGOであるARP
と日本のインド森の民とつながる会
(MTK)の支援先であるアンドラ・
プラデッシュ州ゴダヴァリ川流域のア
デヴァシー（森の民）と呼ばれる先住
民の居住地域を訪問しています。